

「マルチステークホルダー方針」

当行は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、お客さま、地域・社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、当行の存在意義である「永代取引によるお客さま感動満足の創造と豊かな地域社会の実現」を目指し、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や卓越した経営効率によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や持続可能な地域社会の実現につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当行は、人材の「育成」と「活躍」に重点的に取り組み、「永代取引」を支える人材の育成に加え、新たなスキル・ノウハウの習得を通じて、持続的な成長と生産性向上を実現し、付加価値の最大化を目指してまいります。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、当行の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、活力ある組織と多様な働き方の実現により従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資に積極的に取り組み、従業員への持続的な還元を行います。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについて労使間での真摯な対話に取り組めます。現在も業績状況や物価変動などを踏まえた賃金引上げと業績に連動した賞与の支給を実施しており、引き続き適正で納得感のある賃金支給に努めてまいります。また多様な人材が活躍できるキャリア、雇用形態、働き方を整備し、「働きやすさ」を実現するとともに、重要課題として捉えている女性活躍については、アンコンシャス・バイアスを排除し男女が性差なく生き生きと働ける職場づくりを行うことで推進してまいります。また、各々の目指す「キャリア」を支援するための専門部署を新設し、自らの仕事に誇りとやりがいを感じられる「働きがい」の向上を目指します。さらに職員のヘルスリテラシーを高め「健康経営」にも積極的に取り組んでまいります。

人材投資については、行内における職務別研修を充実させるほか、他行および異業種企業への研修者等の派遣、専門資格取得に向けた支援の拡大により、「永代取引」を支える人材の育成に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当行はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日

【2022年7月11日】

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/28559-11-00-tokushima.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組

当行は、お客さまに対しては、世代を超えた息の永い取引を継続し、お客さまの持続的な発展に寄与していくという当行の伝統的なビジネスモデル「永代取引」を実践し、お客さまの企業価値向上と金融資産形成のサポートに取り組んでまいります。

地域・社会に対しては、持続可能な地域社会の実現のため、起業・事業承継支援、金融リテラシー向上、ESG投融資と本業支援、地域のデジタル化推進などに取り組んでまいります。

株主に対しては、中長期的な企業価値の向上に加え、株主還元の充実および非財務情報を含めた開示の充実に取り組んでまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

2023年5月12日

株式会社阿波銀行

法人名

代表取締役頭取 福永 丈久

役職・氏名（代表権を有する者）